

教育目標

自ら考え主体的に学ぶ生徒
明るく思いやりのある生徒
健康でよく働く生徒

学校だより「岩瀬ヶ丘」



第 21 号

平成31年 1月11日発行

須賀川市立第二中学校

☎75-2910

発行責任者：校長 高崎則行

「なりたい自分に」を実現するために岐路を選択する 「選択」に伴う重みを意識して決断し実行しよう

国全体でこれほど節目を意識して迎えた新年が、かつてあったでしょうか。「平成最後」ということで、時代の大きな節目を意識しての幕開けとなりました。第3学期の始業式の式辞は、次のような内容にしました。(第2学年は学年だよりでも掲載してありますので、ここは飛ばしてお読みいただいても結構です。)

昨年、津金教頭先生が「日本は、節目を大切にする国(民族)だ」とおっしゃっていました。新しい年の幕が開ける今の時期は、その節目の最たるものです。節目というのは、これまでの様々な経験を一端リセットし、新たな第一歩を踏み出す機会です。

「人生は岐路の連続である」という言葉があります。人の一生は、分かれ道の連続だという意味です。「分かれ道」では、一方の道を選択しなければなりません。どちらを選ぶか決断し、新たな決意を持って第一歩を踏み出していくのです。

さらに深く考えてみましょう。一方を選択するということは、もう片方は捨てるということに他なりません。

正月の2日、3日に「箱根駅伝」がありました。福島県出身の監督と選手が非常にたくさん参加していました。往路優勝を成し遂げた東洋大学の監督は酒井俊幸さんと言い、石川町の出身です。平成21年3月まで学法石川高校の先生でした。東洋大学から監督の要請があったとき、選手たちは「辞めないでください。」と涙ながらに訴えました。しかし、最後には「僕たちが誇りにできる監督になってください。」そう言って送り出してくれたのだそうです。酒井監督は並々ならぬ決意で学法石川高校を去り、東洋大学の駅伝部監督を引き受けたに違いありません。

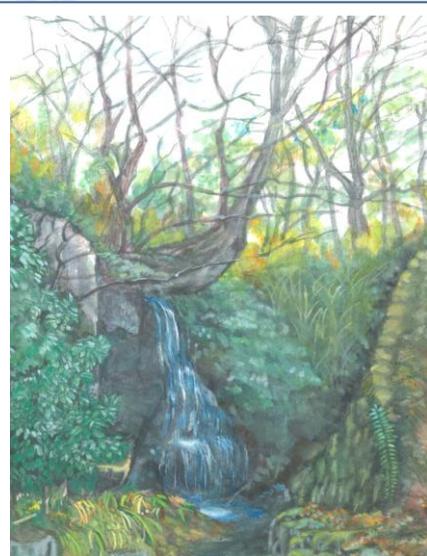
皆さんは、選択することで別の可能性はあきらめなければならないということの重さをしっかり受け止め、決断できるでしょうか。

まさに、3年生は自らの進路を選択し、新たな一步を歩み出すための最後の準備をしている最中なのです。夢や目標を持って「なりたい自分」を実現するための、人生で最初の正念場です。選択に伴う重みをしっかり受け止めてください。

1、2年生も、「なりたい自分」に近づくための「選択」を意識してください。例えば、「勉強のために、部活動を辞めたい。」という人が必ずいます。学生の本分は勉強ですから、勉強することに選択の余地はありません。一方、部活動は、やりたいことの中から「なりたい自分」に近づくために選択したのです。ゲームをやりたい、テレビも見たい、好きな歌手の音楽も聴きたい、インターネットもやりたい、などなど。その中から選んだのが部活動だと考えなければ将来は開かれません。自由時間にゲームをするのもよいでしょう。しかし、自由時間というのは限られた時間です。あれもこれもやることはできません。日々の小さな決断を意識し、「なりたい自分」に近づく努力を今から進めてください。

第3学期、3年生は46日、1、2年生は51日です。今日からどんな第一歩を、どのように踏み出すのか、決意を固めて生活しましょう。

式辞の終盤では、「とりあえずこっちにしておくか、という『とりあえず』の選択が少ない人ほど、夢や目標に近づく。」と付け加えました。日々の努力にかかる小さな選択であれ、進路にかかる重大な選択であれ、しっかり決断し実行している健気(けなげ)な姿を自分のお子さんに見ることができたら、全力でそれを応援してあげてください。成功は約束されていませんが、そういうお子さんには成長が約束されているのです。



謹 賀 新 年

2019年 元旦

各種表彰の記録

須賀川市民体育祭サッカー競技 第2位

岩瀬地区書写コンクール

会長賞 大山奈々花③

推薦 岡部 未侑③ 佐藤 花凜③

尾崎 心愛③ 鴻野 歩③

岩瀬地区中学校造形作品展

特選 菅井汰一③、他に特選35名

福島県中学生造形作品審査会

特選 山下奈々③ 佐々木望愛①

柳沼未羽① 佐藤梨花①

須田菜月① 星 七緒③

菅井汰一③ 春山佳菜③

明るい社会づくり作文コンクール

福島県教育長賞 深谷琉晟②

須賀川市教育長賞 平原由唯①

須賀川市文化祭文芸大会

俳句の部：秀逸 飯塚瑛登①

中学生人権作文コンテスト

郡山人権擁護委員協議会奨励賞 岡本 翼③

アンサンブルコンテスト県南支部大会

金賞 木管三重奏（代表）鈴木 凜②

銀賞 クラリ五重奏（代表）菊地泉希②

銅賞 金管八重奏（代表）圓谷美海②

福島県声楽アンサンブルコンテスト

金賞 （代表）佐藤美憂②

金賞 （代表）恩田修吏②

銀賞 （代表）岸浪凜華①

JA共済県小・中学生書道コンクール

半紙の部 佳作 大山奈々花③

条幅の部 奨励賞 坂本 夏菜③

「家庭の日」作文コンクール

優良賞 本間朱華②

福島県インドアソフトテニス大会 男子団体2位

X' mas カップ東北・北海道選抜ソフトテニス対抗戦

1位 吉田 航②

県中地区中学校新人柔道大会

男子個人 1位 岡島直輝②

2位 石山右京①

女子個人 2位 五十嵐桃香①

(○に数字は学年。次も同じ。)

第2回漢字検定合格者

漢字検定への挑戦者も増えてきました。思考力・判断力・表現力を高めるためにも語彙力がますます重視されます。漢字検定は語彙力を高めるのにもってこいです。

2 級 須田日菜子③ 富塚 美涼③

前田 陽葵②

準2級 春日菜留美③ 相楽 結希③

橋本 彩乃③

本間 朱華②

3 級 萩原 未南②

岡本 翼③

須藤 颯斗③ 長谷川愛彩③

村上 智哉③ 上妻 浩聡②

高橋 美那② 圓谷 美海②

4 級 伊藤陽奈多② 轡田 紫依②

小橋 夢冬② 滝田 昂②

各種検定は、進度を自分で決めることができるので、下の学年の生徒に抜かれることもあります。それが理由でお子さんが挑戦をあきらめているようだったら励ましてあげてください。高校で各種資格試験を受ける時も同じことが起きるのですから、引っ込んでばかりでは成長が望めません。

ひと味違うぞ！ 二中学生



3年生は、私立高校の受験生と県立高校Ⅰ期選抜の受験生の面接練習が佳境を迎えています。

校長面接を校長室で行うため、ソファなどの配置を換えました。そして、面接練習の時はパイプ椅子を用意します。生徒を迎える前にパイプ椅子を出しておくようにしていますが、生徒を校長室に招き入れてから椅子を出すようになるときもあります。そんなとき、「校長先生、私がやります。」と言って、私にさせまいとするのが二中学生です。

面接練習が終わった後は、使ったパイプ椅子を片付けようと私が手を伸ばします。しかし、「校長先生、どこに片付けますか。」と、私よりも先に椅子に手をかける。それも二中学生です。ですから、面接練習の後、私がパイプ椅子を片付けたという記憶がありません。

今日、面接練習を終えた生徒は、「将来は、社会に貢献できる仕事に就きたい。社会に貢献できているという実感が自分の達成感を高めてくれるからです。」と答えていました。どんな職業に就くにしても、私たちは、働くことで必ず社会につながっています。生徒の何気ない行動に、私は社会貢献意識の萌芽を感じているのです。

この学校だよりは、本校HPからもご覧いただけます。